



原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和8年

4月7日（火）

印西市立原小学校

校長室だより No.1

みんなで子どもたちを支える学校に！

校長 石川 真樹子

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

校庭の桜が美しく舞う中、4月9日に希望に満ちあふれた新入生223名を迎え、48学級1284名で令和8年度の教育活動をスタートします。

児童数が多いということは、大きな活力となります。いろいろな個性をもった子どもたち、また様々な教育方針や価値観をもった保護者の皆様がいらっしゃる中で、それぞれ別々の方向を向いていると活力は低下してしまうのではないかと心配しております。しかし、それらが一つの方向をめざしてまとまったときには、強い力となって大きな教育効果を発揮し、さらに活力あふれる学校になると確信しています。

教師も保護者の皆様も地域の方々も、子どもの健やかな成長を願っています。未来を担う子どもたちにどのような力をつけていくのか。そのためにすべきことは何なのか。我々大人が一丸となって、本校の教育目標である「自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子」の育成をめざして、ともに歩んでいきたいと思えます。教職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育目標は

人間性豊かな 考え行動できる 心身ともにたくましい子
～自らの可能性に挑戦する 活力ある原っ子～



一人一人の子どもがもつ良さや可能性を見出し、引き出すことにより、「自分にもできる」「やればできる」「できることは楽しい」「もっとできるようになりたい」と、子どもの意欲を高め、できたことにより自信を深め、さらなる高みをめざす活力を養っていきたくと考えます。そして、その活力は、予測できない社会の変化に柔軟に対応できる『生きる力』となります。子どもたちが将来社会人となったときに、様々な課題に主体的に向き合い判断しながら、他者と関わり合い、自分らしく、より良く生きていけるように、日々の教育活動や学校行事を通して身に付けていきます。

すべての教育活動は「子どもたちにこの力をつけたい」と目的をもって行われます。教職員それぞれの立場や役割の中で、子どもたちのために全力で指導にあたります。

めざす学校像

子どもの笑顔が輝く学校
保護者や地域から愛され信頼される学校
子どもや教職員が「チーム原」の一員であることを誇りに思える学校



今年度は特に、学年の児童を学年担当全員で見守る体制を推進してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。